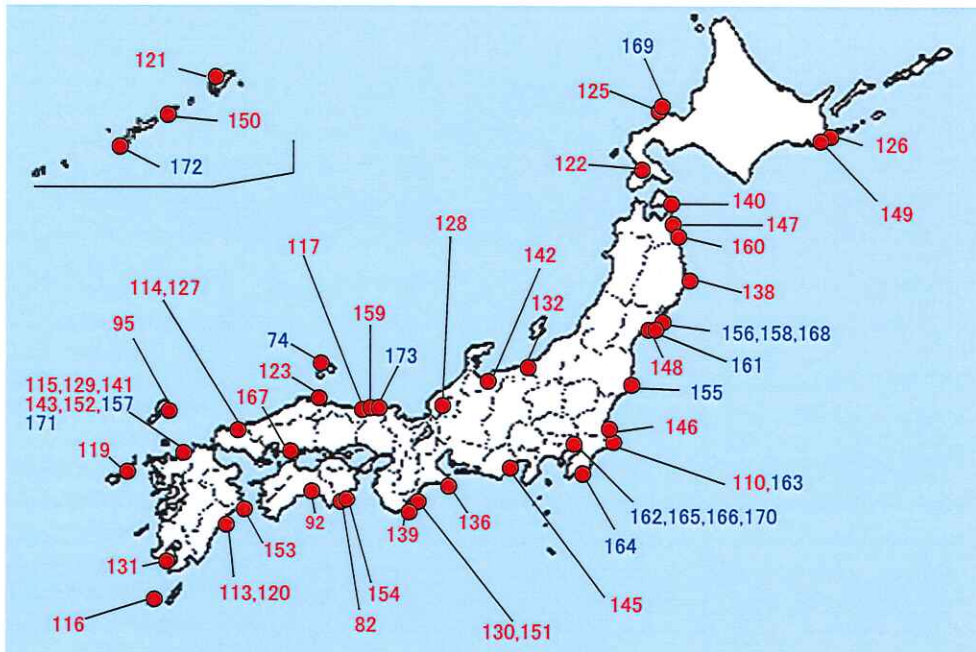


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業中・実証予定の計画— (平成31年3月8日現在)



- 74 隠岐(中まき)：燃油消費量の削減、適量漁獲と活〆処理等<改革型>
- 82 近海まぐろ延縄(高知②)：省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更<28.5～改革型>
- 92 御畳瀬(沖底)：小型化、省人化、直まき方式の採用等<28.9～改革型>
- 95 対馬市(小型いか釣り)：船凍品製造、LED集魚灯等<28.8～改革型>
- 110 銚子(沖底③)：ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生装置導入等<28.9～改革型>
- 113 川南(沿岸まぐろ延縄)：新たな経営体の確保、漁船の小型化等<28.4～改革型(沿岸漁業版)>
- 114 山口外海(パイ筏)：パイ筏専業船の導入による船上作業の効率化等<28.7～改革型>
- 115 遠旋組合⑤(大中まき)：改革型漁船導入による船団縮小(5隻→4隻)等<28.5～改革型>
- 116 屋久島(瀬物一本釣り)：操業協業化による効率化等<28.6～改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港(沖底②)：船上加工による6次産業化<28.9～改革型>
- 119 五島定置(大型・小型)：仕切網による操業効率の向上と魚価向上<28.4～改革型>
- 120 近海まぐろ延縄(日向)：メカジキトラップによる対象魚種の多様化、操業海域変更<28.4～改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り：船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<28.8～改革型>
- 122 ひやま(小型いか釣り)：新型漁撈機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り専業化等<28.5～多角化>
- 123 境港②(べにずわいがに)：冷蔵機能魚倉、冷却水槽による高鮮度化、規格化等<29.4～改革型>
- 125 古宇郡(ホタテガイ養殖)：養殖施設を9基→33基に増設し生産体制の強化、販路拡大等<28.6～多角化>
- 126 根室湾中部(小型いか釣り)：1人乗り操業による高品質品生産、LED集魚灯導入等<28.8～改革型>
- 127 山口外海(大型定置)：未利用漁場活用による生産力向上、村張りから法人化による経営体制強化等<28.11～改革型>
- 128 福井(大型定置)：出荷・販売ルートの開発による収益性向上等<29.3～改革型>
- 129 遠旋組合⑥(大中まき)：活魚輸送・畜養いけすによる漁獲物の有効利用、船団縮小(5隻→4隻)等<29.1～改革型(全体計画)>
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画)：燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等

- 130 遠洋かつお一本釣り(尾鷲)：499トン改革型漁船での省コスト操業、活餌イワシ生存率向上等<29.3～改革型>
- 131 枕崎(遠洋かつお一本釣り)：冷海水によるライン鯉の安定供給、省エネ船型導入等<29.3～改革型>
- 132 上越(小底)：2人体制のニギスに特化した操業モデル確立、僚船との協業化、選別機導入等<29.4～改革型(沿岸漁業版)>
- 136 三重県真珠養殖(真珠養殖)：低塩分養成技術の導入、作業船の共同化等<28.6～改革型>
- 138 宮古・釜石(沖底)：省エネ型漁船の導入、トロールセンサーシステム導入等による省コスト化<30.2～改革型>
- 139 太地町(大型定置)：省エネ・省力型漁撈機器搭載の改革型漁船の導入等による省コスト化<29.10～改革型>
- 140 青森県大畑(小型定置)：改良型網の導入、省エネ型漁船の導入等による生産性の向上<28.11～改革型>
- 141 遠旋組合⑦(大中まき)：改革型運搬船による養殖用種苗の洋上販売、船団縮小(5隻→4隻)等<29.9～改革型>
- 142 とやま市(大型定置)：改革型マント網の導入、ホタルイカの付加価値化、旧網利用による操業期間延長<28.12～改革型>
- 143 遠旋組合⑧(大中まき)：改革型運搬船の導入、フィッシュポンプの活用、氷使用量の削減、船団縮小等(9隻→8隻)<29.9～改革型>
- 145 遠洋かつお一本釣り(焼津③)：S-1カツオの増産、499トン型基本船型の開発・導入<29.12～改革型>
- 146 神栖市沿岸漁業(小底)：改革型漁船の導入、消費地市場への自家出荷等<29.3～改革型(沿岸漁業版)>
- 147 遠洋まぐろ延縄(八戸)：ブーム式荷役装置を搭載した改革型漁船の導入、転載による効率化等<30.7～改革型>
- 148 遠洋かつお一本釣り(塩釜)：改革型漁船の導入、新製品の生産、タスマン漁場の再開等<30.3～改革型>
- 149 全国さんま棒受網(落石)：省エネ・省コスト型漁船の導入、フィッシュポンプによる省人化等<29.9～改革型>
- 150 与論(ソデイカ旗流し)：改革型漁船の導入、ソデイカ下足の高鮮度出荷、ブランド化等<29.9～改革型>
- 151 尾鷲(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、一艘起こしへの操業転換及び網交換作業の効率化等<29.10～改革型>
- 152 遠旋組合⑨(大中まき)：改革型漁船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、運搬船の共同利用等<30.4～改革型>
- 153 北浦(中まき②)：改革型網船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、網船冷海水魚艙による鮮度保持等<30.4～改革型>
- 154 野根(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、周年操業化による生産性向上等<30.2～改革型>
- 155 いわき(遠洋まぐろ延縄)：経営体統合、大型改革船及び省エネ型改革船の導入による船団操業の効率化等<改革型>
- 156 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑥)：省エネ・労働環境改善型漁船の導入、航海計画の最適化等<改革型>
- 157 遠旋組合⑩(大中まき)：ミニ船団化(5隻→3隻)、スラリーアイスと冷海水の併用による鮮度保持等<改革型>
- 158 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑦)：改革型漁船の導入による省エネ運航、縦型コンベアの設置による餌料作業の大幅な省力化等<改革型>
- 159 浜坂(沖底②)：改革型沖底・いか釣り兼業船の導入、船上凍結による漁獲物の高品質化等<30.9～改革型>
- 160 青森県八戸(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、季節網の採用による安定生産体制の確立等<30.10～改革型>
- 161 北まき・石巻②(大中まき)：改革型運搬船の導入による漁獲物の高鮮度化、石巻への水揚げの増加等<改革型>
- 162 海外まき網(海まき③)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、搭載ヘリコプターを用いた素群れ操業等<共通仕様>
- 163 北まき・銚子(大中まき)：改革型網船の導入、船団縮小(3隻→2隻)、魚艙内温度管理システムによる鮮度保持等<改革型>
- 164 千葉県東安房(大型定置)：改革型漁船の導入による船団縮小(6隻→4隻)、改革型漁網による周年操業化等<改革型>
- 165 遠洋まぐろ延縄：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、高速ブロードバンド衛星通信システムの導入等<共通仕様>
- 166 全国さんま棒受網：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、公海操業に対応した冷凍・冷蔵能力の向上等<共通仕様>
- 167 広島県ニジマス養殖：海面と内水面が連携した海面2回出し生産による新たな養殖システムの構築等<31.1～改革型>
- 168 近海まぐろ延縄(気仙沼)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、複数隻の連携強化による操業の効率化等<共通仕様>
- 169 積丹(大型定置)：改革型漁船及び改革型漁網の導入、プリの付加価値向上等<改革型>
- 170 全国遠洋まぐろ(遠洋まぐろ延縄)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、漁獲物の取込・冷凍作業の省力化等<共通仕様>
- 171 遠旋組合(大中まき)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、松浦地区でのバリューチェーン全体の生産性向上等<共通仕様>
- 172 糸満(ソデイカ旗流し等)：改革型漁船の導入、急速冷凍装置の導入による操業の効率化、未利用・低利用資源の活用等<改革型>
- 173 兵庫県但馬(沖底)：共通船型・仕様による建造コスト等の削減、船上凍結による漁獲物の高付加価値化等<共通仕様>

**認定改革計画 173件：実証事業中 43件(全体計画1件含む)、実証予定 17件、
実証事業終了113件(がんばる漁業への移行11件含む)**

(注1) 赤数字：実証中の計画、青数字：実証予定の計画 (注2) 計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載
(注3) 計画概要及び地図はがんばる漁業へ移行した11件を除く。

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業を終了した計画— (平成31年3月8日現在)

- 八戸(大中まき): 船団縮小(4隻→2隻)<20.4~23.3 改革型>
- 北海道機船(室蘭)(沖底): 省コスト共通船型、操業協同化<20.9~21.8・21.9~24.8 改革型>
- 大津(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)<20.10~23.9 改革型>
- 賀露(沖底): 省エネ船型導入<20.9~23.8 改革型>
- 銚子(沖底): 小型化(74トン→19トン)、協業化<20.6~23.5 改革型>
- 遠旋組合①(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)<21.1~24.1 改革型>
- 石巻(大中まき): 単船化、省エネ省コスト化<21.8~24.7 改革型>
- 波崎(大中まき): 船団縮小(4隻→2隻)<21.8~24.7 改革型>〔自己負担等により実施〕
- 北海道機船(小樽)(沖底): 生産体制の合理化<22.2~25.1 改革型>
- 香住(べにずわいがこ): 常設活魚船導入<20.9~23.8 改革型>
- 境港(べにずわいがこ): 省エネ省コスト、高鮮度保持<21.9~24.8 改革型>
- 紀伊水道(中まき): 船団縮小(9隻→7隻)<21.7~23.6 マイルト>
- 静岡(大中まき): 船団縮小(6隻→5隻)<23.1~25.1 改革型>
- 塩釜(遠洋底びき): 新規漁場(インドネシア)開発<21.8~22.2 マイルト>〔中止〕
- 山川(海まき): 海外漁場(パプアニューギニア)の確保<21.11~23.11 マイルト>
- 柴山(沖底): 耐候性漁船、高品質水揚げ<21.9~24.8・22.9~25.8 改革型>
- 浜坂(沖底): 小型化(90トン→65トン)、省人化<21.9~24.8 改革型>
- 小名浜(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統7隻)<21.10~23.11 マイルト>
- 北海道機船(釧路)(沖底): 船内1次加工等による高付加価値化<22.9~25.8 改革型>
- 気仙沼(近海まぐろ延縄): 省エネ省コスト、高鮮度保持<22.8~25.8・22.10~25.10 改革型>
- 遠洋かつお一本釣り(焼津): 省エネ省コスト、高付加価値化<22.9~24.8 マイルト>
- 網代港(沖底): 省エネ、高鮮度保持<23.4~26.3 改革型>
- 遠旋組合②(大中まき): 2船団グループ操業化<23.4~26.3 改革型>
- 五島(中まき): 5船団でトータルコストの削減<23.4~26.3 改革型、22.6~24.5 マイルト>
- 近海かつお一本釣り(日南・南郷): 小型化(70トン→19トン)<23.4~26.3 改革型>
- 愛媛(真珠養殖): 越前真珠生産<22.11~25.3 改革型>
- 紋別(小底): 省エネ化、衛生管理<23.3~26.2 改革型>
- 北浦(中まき①): 6船団共同操業・共同運搬化<23.4~26.3 改革型、23.4~25.3 マイルト>
- 賀露(沖底②): 省エネ、船速出荷<23.9~26.8 改革型>
- 銚子(沖底②): 小型化(74トン→19トン)、船首ブリッジ導入<24.6~27.5 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(宮古): 省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上<24.5~27.4 改革型>
- 八戸(小底): コスト削減、鮮度向上<27.3 改革型>〔取り下げ〕
- 遠洋まぐろ延縄(焼津①): 省エネ、流通改善<24.4~26.3 マイルト>
- 下関(沖底): 小型化(75トン→69トン)、付加価値向上<24.4~27.3 改革型>
- 深浦(沖底): 省エネ・小型化(50トン→19トン)、衛生管理・付加価値向上等<25.9~28.8 改革型>
- 三重外湾(中まき): 船団縮小(6隻→4隻)、ウォーターバッグによる活魚輸送等<25.1~28.1 改革型>
- 舞鶴(大型定置): 操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等<25.1~28.1 改革型>
- 網代港(小型定置): 省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等<24.4~27.3 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(尾鷲): 小型化・省エネ、アルコールスラリーアイスの導入<24.6~27.5 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(高知): 既存船の省燃費型への改修、船上加工<24.4~26.3 マイルト>
- 浜田(沖底): リシップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進<25.4~27.3 マイルト>
- 萩(小型いか釣り): 共同探索・運搬等による操業の効率化<24.6~26.5 マイルト>
- 遠洋まぐろ延縄(いわき): 省エネ、漁獲物処理の迅速化<25.7~28.6 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(気仙沼②): 省エネ、EU衛生基準に対応した設備<25.7~28.6 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(気仙沼③): 導入省エネ、高付加価値化<25.3~28.2 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(三崎): 船型の小型化、超深縄漁法の導入<25.8~28.7 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野): 省エネ、次世代型冷凍システムの導入<25.9~28.8 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(伊勢): 省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入<26.2~29.1 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(南伊勢): 針数削減等による効率的操業の導入<25.4~27.3 マイルト>
- 北海道機船(稚内)(沖底): 省エネ型漁船、活〆脱血処理等による高付加価値化<25.10~28.10 改革型>
- 枕崎(遠洋かつお一本釣り): 艀節向けブライン産生、燃油費削減<25.3~26.3 マイルト>
- 紀伊水道(中まき②): 2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9隻→7隻)<26.2~29.2 改革型>
- 北まき・石巻(大中まき/海まき): 単船操業、水揚数量の大幅縮減<26.4~29.3 改革型>
- 枕崎(海まき): 合併事業、ブライン操業、大目網の導入<25.3~27.2 マイルト>
- 遠洋まぐろ延縄(焼津②): 冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減<26.3~29.2 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(気仙沼④): パックフロア船型、省エネ航行、高品質化<26.5~29.4 改革型>
- 遠洋かつお一本釣り(焼津②): B-1製品の製造、燃油削減<25.3~27.3 マイルト>
- 全国遠洋まぐろ(富山): 操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上<26.4~29.3 改革型>
- 鹿児島(カンパチ養殖): 国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化<25.4~28.8 改革型>
- 鹿児島(ブリ養殖): 国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船<25.3~27.7 改革型>
- 山口外海(小型定置): 新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等<25.12~28.11 改革型>
- 宇和島(中まき・小まき): 船団縮小(5隻→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上<26.4~29.3 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(焼津②): メバチ・キハダロイン加工、ビンナガドレス加工等<25.10~27.9 マイルト>
- 遠洋まぐろ延縄(気仙沼⑤): 主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等<26.4~29.3 改革型>
- 佐賀玄海(小型いか釣り): ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等<26.6~29.5 改革型>
- 近海まぐろ延縄(高知): 省エネ、高鮮度、漁場変更(中南海→南方)<25.10~27.9 マイルト>
- 遠旋組合③(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)、2層甲板、ブライン凍結<26.4~29.3 改革型>
- 三重外湾(大中まき): 船団縮小(6隻→4.5隻)、活魚、窒素ナノバブル高鮮度化<26.5~29.4 改革型>
- 福井(沖底): 省エネ、揚網方法の改善、活魚化<25.10~28.9 改革型>
- 真鶴(大型定置): 網設置位置の適正化、新設計網の導入<26.3~29.2 改革型>
- 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②): 解凍硬直防止技術の確立、地元販売等<26.8~29.7 改革型>
- 下灘(真珠母貝養殖): 真珠母貝品種絞り込み、共同養殖、母貝大型化等<26.1~28.12 改革型>
- 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津): 共同化、温度帯変更、塩釜基地等<25.12~27.12 マイルト>
- 静岡(中まき): ミニ船団化、小型化、活魚生産等<26.8~29.7 改革型>
- 五島(中まき②): 会社統合、ミニ船団化、活魚生産等<26.1~28.1 マイルト>
- 近海まぐろ延縄(日南・南郷): 省人、小型化、漁場変更、活餌操業等<26.8~29.7 改革型>
- 海外まき網(海まき): インド洋・太平洋の併用操業、改革型漁船2隻の連携、大型化等<27.4~30.3 改革型>
- 竹野(大型定置): 単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等<26.5~29.4 改革型>
- 秋田(大型定置): 流木予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種選択漁獲網の導入等<27.3~30.2 改革型>
- 遠旋組合④(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)、主機関共通化等<27.4~30.2 改革型>
- 八雲町ホタテガイ養殖: 3年貝主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等<26.12~31.2 改革型>
- 鹿児島(大型定置): 網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<27.8~30.7 改革型>
- 能都(大型定置): 1ヶ統→合理的2ヶ統操業、改革型金庫網、柔軟な出荷戦略等<27.9~30.9 改革型>
- 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599トン船での省コスト操業等<27.10 改革型>〔取り下げ〕
- 遠洋まぐろ延縄(焼津③): 代替冷媒導入、冷凍機の稼働台数適正化等<27.3~29.2 マイルト>
- 串木野遠洋まぐろ延縄: 経営体統合、既存船の大規模リニューアル<27.9~30.8 改革型、27.10~29.9 マイルト>
- 延岡(大型定置): 両落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<27.10~30.9 改革型>
- 小川(さば棒受網): まき餌コスト削減、99トン型鋼船の導入、活魚・活〆処理等<28.3~31.2 改革型>
- 近海かつお一本釣り(日南・南郷②): 操業海域変更、海水氷製造機の搭載等<27.7~30.6 改革型>
- 近海かつお一本釣り(日南・南郷③): 操業海域変更、低温活餌装置の搭載等<28.2~31.1 改革型>
- 蒲郡(沖底): 操業体制の見直しによる省人化、アカザエビ活魚化等<27.9~30.8 改革型>
- 北海道機船(小樽②)(沖底): LLPIによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<27.4~30.3 多角化>
- 北海道機船(稚内②)(沖底): 操業対策委員会による操業、箱詰めの割合向上等<27.4~30.3 多角化>
- 香住(沖底): 巻き返しによる漁具費削減、船上冷凍設備の導入等<27.9~30.8 改革型>
- 大分県(中まき): フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<27.11~30.10 改革型>
- 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599トン改革型漁船での省コスト操業、活〆脱血製造等<27.12~30.11 改革型>
- 香川(海面ニジマス養殖): プリ養殖休漁期を活用したニジマス養殖、ブランド化等<28.1~30.5 改革型>
- 厚岸(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5~30.7 多角化>
- 根室(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5~30.7 多角化>
- 全国さんま棒受網(公海さんま棒受網): 船上凍結製品の生産、ロシア加工船への洋上売魚等<28.5~30.7 多角化、28.5~29.7 マイルト>
- 長崎以西底曳(以西底びき網): 新型網導入による省エネ、キダイの販路拡大等<28.10~30.9 マイルト>
- 海外まき網(海まき②): VDの高度利用、共同運搬船の活用<28.10~29.9 マイルト>

実証事業終了 113件 (がんばる漁業への移行11件含む)

(注4)黒数字:実証を終了した計画